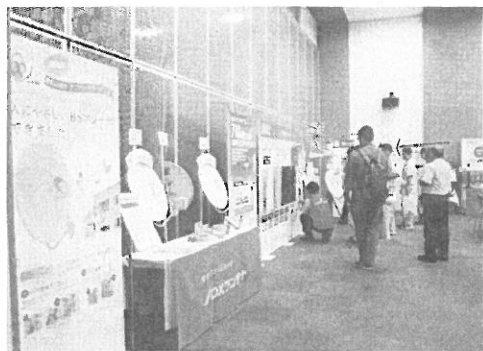


アンテナX 秋の新商材発表会・講習会

DXアンテナ(米山貴社長)は5日、沖縄県浦添市の浦添市産業振興センターで「2014 秋の新商材発表会・講習会」を開いた。沖縄での開催は今回が初めてで、県内の電材卸、電気工事店、弱電工事店、家電店などを中心に約250人が来場した。



特長を自らアピールする米山社長



新商材発表会・沖縄会場

会場入りした米山社長は、新商材の高速同軸モジュール(EoC)実演・デモコーナーで、来場者に対してその特長をアピールするなど、意欲的なところをみせ、「今回の発表会を契機に、需要拡大につなげられたい」と期待を込めていた。

今回、披露したのは、「人によさしいBSアンテナ」をはじめ、さらに小型化をはかった新平面アンテナ「UAH500」、110度CSやTE測定にまで対応した新型レベルチェッカー「LC50W」、CATVブースト、共同受信用小型アンテナ、テレビ受信機器の新商材など。

沖縄で初開催 最新の機器を披露

さらに、光・CATV関連機器としてシステムコストを低減する「VIONUM」

ド、ミリ波長距離伝送システム、OFDM自主放送用システムなど、最新の受信機器を一堂に展示し、提案した。

DXテルカテック製品としては、次世代伝送システム(IPDC)、ハイビジョンみまもりシステム、

子機通話が可能ワイヤレスインターホン、LED

センサーライトなどの新商材、IPDC技術のDXマ

ルチキャスト(放送と通信)でも高速ブロードバンド、IP通信が可能。会場内に実演・デモコーナーを設けて通信環境のリニューアルを強く提案し、電気

工事業者から来場者の関心も高かった。このほか、液晶テレビをはじめとした映像機器の新商材(DXプロードテック)も展示していた。

また、CATVシステムや今後の新しい放送については、高速同軸モジュールなどのビジネスの提案講習や「お客様の声でできました!新商材の提案」の新商材説明、マシソン・ビル共同受信システム、戸建てアンテナ施工・BS受信に対応した技術講習などが行われ、セミナー・講習会場は、予想を上回る200人超、熱心にメモをとる姿も多くみられた。



「お客様の声でできました」コーナー



ハイビジョンみまもりシステムなどの展示コーナー



平面アンテナ展示コーナー



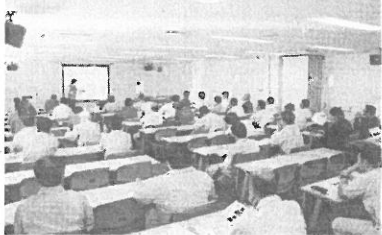
高速同軸モジュール実演コーナー



CATV光伝送システムなどを展示



ブッシュ型地域情報配信システムコーナー



提案・商材説明会場